

令和5年度 第53回九州中学校バスケットボール競技大会

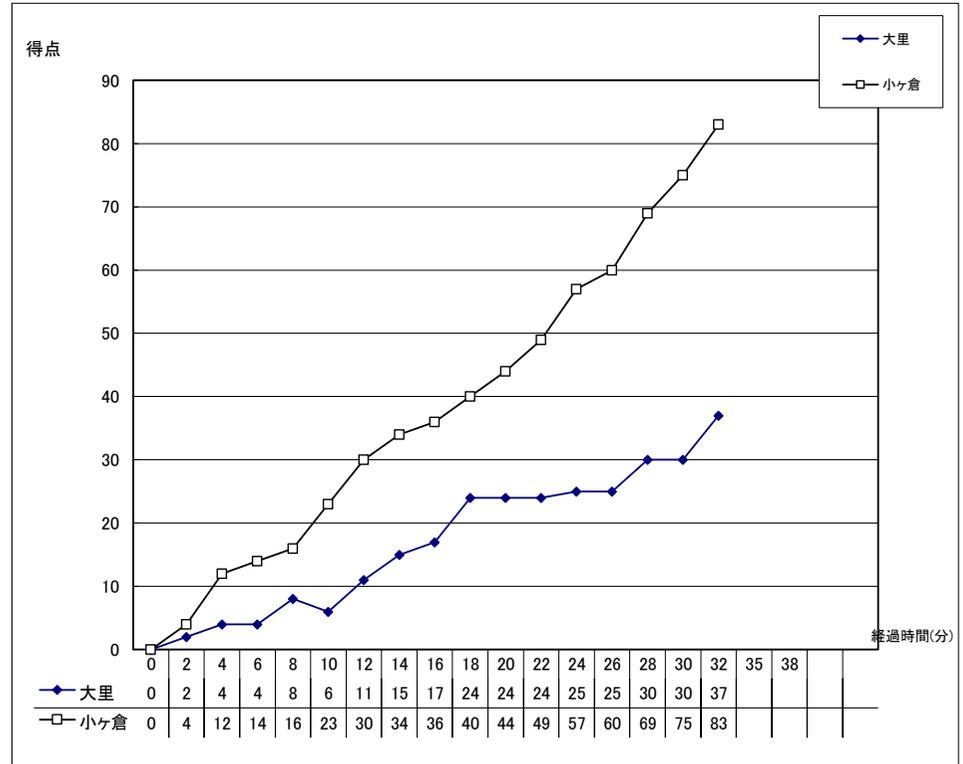
個人データ表

男子 決勝	令和5年8月10日	14:00 開始
会場： ナースパワーアリーナ	Bコート	第4試合
主審： 山口	副審： 井元 林	

大里	37	8	1 Q	16	83	☆ 小ヶ倉 長崎
沖縄		9	2 Q	20		
		8	3 Q	21		
		12	4 Q	26		

大里												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
4	兼箇段 涼季								1			
5	大城 泰也	2			1	2						
6	新垣 仁睦								1			
7	大城 蓮	8		1	3	8	2	2	1	2	1	3
8	亀山 蓮斗											
9	仲村 絆希											
10	松田 琉空	13	3	10	2	9				1		1
11	藤田 哲也	1				3	1	2	3	1	1	2
12	城間 勇輝											
13	大城 瑞空											
14	平良 悠次								1			
15	普天間 一葵											
16	仲村 優都			1		1						
17	平安山 英龍	6			3	4			2	2	3	5
18	金城 俊蒼	7		8	3	13	1	2	2	6		6
コーチ	大城 盛一朗											
合計		37	3	20	12	40	4	6	11	12	5	17
成功率			15.0%		30.0%		66.7%					

小ヶ倉												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
1	榊 優規	5	1	2	1	2			1		1	1
2	揚野 聡介	3	1	2								
3	徳永 大雅	1					1	2				
4	高平 爽太	16	1	2	5	9	3	3	3	2		2
5	工村 祥元	2		1	1	2				1		1
6	山下 璃空	18		2	7	9	4	6	2	6	3	9
7	池田 一颯	18		1	8	9	2	2		4		4
8	川内 激也	3	1	2		1			2			
9	滝川 雄翔			2					1	1		1
10	藤本 海斗	3	1	1					1	2	1	3
11	山口 翔	3	1	1								
12	生駒 大成	2			1	1						
13	岡田 莉空											
14	野上 大輝	9	1	3	3	5			2	1		1
15	永留 大											
コーチ	永野 大輔											
合計		83	7	19	26	38	10	13	12	17	5	22
成功率			36.8%		68.4%		76.9%					



《戦評》

1Q: 大里ハーフコート、小ヶ倉オールコートのDFから入る。まずは、小ヶ倉#4がドライブから得点。大里は#7のドライブで返す。大里は#18からのパスを#17が決めて追いつける。しかし、小ヶ倉がリバウンドからの速攻を#7が決めて8点差に。ここでたまたま、大里1回目のタイムアウト。大里は、アウトサイドからのシュートを狙うが決まらない。大里#10のドライブで得点の後、小ヶ倉1回目のタイムアウト。一進一退の攻防を行い、1Qは、8-16小ヶ倉リードで終了。

2Q: 最初の得点は、小ヶ倉#14の3P。小ヶ倉は、ハーフDFに変えるが、激しさは変わらない。大里#10が3Pを決め、流れを変えようとするが、小ヶ倉#14#7#4が連続得点。11-29になったところで、大里2回目のタイムアウト。大里は#18、#10が3Pを狙うが決まらない。逆に、小ヶ倉の#6がフリースローなどで得点を重ねる。大里が得点をすると、すぐに小ヶ倉が取り返す展開に。しかし、大里#10、#7の連続得点の後、小ヶ倉2回目のタイムアウト。その後も点を取り合い、17-36で前半終了。

3Q: 小ヶ倉#6が速攻を決めて得点。すぐに、大里#7がフリースローを2本決め取り返す。大里#10が3Pを決めると、小ヶ倉#7がミドルシュートを決め返す。互いに激しいDFと固いリバウンドで、主導権を渡さない。小ヶ倉は、#4や#7がドライブを仕掛け得点を狙う。均衡を破る小ヶ倉#8の3Pの後、終盤に連続得点。小ヶ倉が25-57でリードを広げ3Q終了。

4Q: 小ヶ倉がオールコートDFに戻し、プレッシャーをかける。大里#5がドライブで決めると、すぐに小ヶ倉#4がドライブでバスケットカウントを決め返す。大里がダブルチームやオールコートDFでプレッシャーをかけるが、小ヶ倉は#10#11が3Pを決め点差を離す。大里も#10が3Pを決めて、追いつけを図るがタイムアップ。37-83で終了。小ヶ倉が優勝を果たした。両チームとも気迫のこもったディフェンスとリバウンド、高い個人技が発揮された九州大会決勝に相応しいナイスゲームであった。両チームの健闘を称えたい。

戦評記入者: 荒木鉄成(南阿蘇村立南阿蘇中学校)